

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回 所沢市障害者施策推進協議会
開 催 日 時	令和7年1月20日(月) 午前10時00分～12時00分
開 催 場 所	所沢市役所 高層棟6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	雨倉 聡、小川 奈津己、玉津島 滝子、仲 重夫、木村 栄、 粕谷 廣子、中島 亜希子、大島 幸子、室田 由美、荻野 司、 小澤 温、菊池 芳久、小野寺 祐樹、吉澤 久雄、坪井 弘直 以上15名
欠 席 者 の 氏 名	久保田 さおり、古川 弘子、熊谷 大、齊藤 秀行、 古山 周太朗
議 事	(1) 親亡き後について (2) 第6次障害者支援計画の進捗管理における主要指標について ・進捗管理と目標値管理の評価方法について (3) その他
会 議 資 料	1. 会議次第 2. 所沢市障害者施策推進協議会委員名簿 3. 第6次所沢市障害者支援計画進捗状況評価方法新旧対照表 (資料1) 4. 第6次所沢市障害者支援計画各施策の目標値管理評価方法 新旧対照表(資料2) 5. 第6次所沢市障害者支援計画進捗管理の評価方法に対する ご意見と回答(資料3) 6. 親亡き後について(資料4) 7. 主要指標事務局案1 障害者週間記念事業(資料5) 8. 主要指標事務局案2 自立支援協議会(資料6) 9. 主要指標事務局案3 児童発達支援センター(資料7)
担 当 部 課 名	福祉部 前田部長 畑中次長 障害福祉課 一色課長、吉里副主幹、岩崎主査、藤原主査 長谷川主査、風間主任、加藤主任 こども福祉課 加賀谷課長、宮武主査 健康管理課 千葉副主幹 (事務局) 福祉部障害福祉課 電話 04-2998-9116

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開 会
会長	<p>会長の挨拶</p> <p>6年度は障害者総合支援法の改正、報酬改定のスタートを切った年であり、振り返ることにより次の年度を考える時期である。</p> <p>国の動きとしても入所施設の在り方、グループホームの在り方が意識されている。今回の会議では、親亡き後について審議をして、次の年度に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>新しい計画のスタートを切ったこともあり、評価指標も多いので、忌憚のない意見・提案を行ってほしい。</p>
事務局	<p>—出席者15名—</p> <p>—傍聴者確認（傍聴者4名）—</p> <p>配布資料の確認</p> <p>会議については原則公開とし、会議録は要約記述で発言者名は省略、公開は議長承認後とすることを了承</p>
会長	<p>《議事》</p> <p>議題（1）親亡き後について</p> <p>事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>—資料4を使って親亡き後についての説明—</p> <p>障害者を持つ親にとって、自分が亡くなったあとに誰が自分の子を支援してくれるのか」と不安を抱えている。</p> <p>特に親が亡くなった後の子どもの支援者、生活をしていくための費用、住居の確保、財産管理といった点で不安を抱えている。</p> <p>市の主な支援体制としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の職員によるケースワーク</li> <li>・相談支援事業所による相談支援および支援計画の作成</li> <li>・共同生活援助(グループホーム)等の障害福祉サービスの利用や体験の機会の提供</li> <li>・自立支援協議会による市内各相談支援事業者や障害者施設の連</li> </ul>

	<p>携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急相談窓口の設置(夜間休日の相談先)</li> <li>・ 障害者等緊急短期入所事業</li> <li>・ 親亡き後や地域の支援体制の充実のために必要な施策を検討する地域生活支援拠点会議の実施といった事業を実施している。</li> </ul> <p>具体的な事例について、親の入院や他界により預け先に困った件などについて紹介する。</p> <p>(1) 親の入院または他界などの緊急時に、障害者本人の預け先に苦慮したケースや福祉サービスなどの利用により生活できたケース 4 事例</p> <p style="padding-left: 40px;">内訳：緊急対応事例 2 事例</p> <p style="padding-left: 80px;">親他界後でもサービス等を利用しながら生活できているケース 1 事例</p> <p style="padding-left: 80px;">金銭管理・成年後見関連事例 1 事例</p> <p>(2) 親亡き後を心配し、早めに相談したことで緊急対応とならずに済み、地域で生活ができているケース 1 事例</p> <p>(3) 親亡き後を心配し、施設入所の申し込みをしたものの、直前になって本人と離れることの寂しさが増し、入所を断ってしまったケース 1 事例</p>
会長	事務局の説明に意見や質問はありますか。
委員	<p>成年後見の事例を伺いましたが、成年後見人は、障害がない場合でも不足していることを聞いたことがあり、利用したいと思ってもすぐに利用できる人が見つかる状況なのか。</p> <p>後見人の中でも障害特性に理解がある方がいるか、そのような立場の方への研修・啓発があるのか。</p>
事務局	<p>本市では、成年後見センターを開設している。今回の委員の中に担当者がいるので回答をお願い出来るか。</p>
委員	<p>成年後見センターの方で取組を進めており、障害のある方は高齢者と比べ長く利用されるので法人後見をしている。行政書士、司法書士、社会福祉士の団体に意見交換会、NPO 法人等には勉強会の実施、ほかの自治体ではあまり開催が無い中で行っている。</p>

	<p>こうした会議には、川越家庭裁判所の書記官にもオブザーバーとして参加してもらっている。一つの個人、団体ではなく広くの方に参加してもらっている。</p> <p>数の不足については、行政書士、司法書士、社会福祉士の団体についても供給量が足りないことは認識していた。国の方でも一般の方を市民後見人として育成を進めて、地域・身近で必要とされている方へのサポートに当たればと考えている。県でも研修会を実施しており、所沢市からも十数名受講されている。</p>
<p>会長</p>	<p>市民後見は、全国的にも注目されている。貴重なお話だった。</p>
<p>委員</p>	<p>障害者の支援者の人材確保に不安を感じる。支援対策の推進の一つで人材の確保をどうすればいいか。職員の人材育成、就労支援の改善はもちろんだが、若年人口の減少、外国人の技能実習生の話、国の補助の拡充も図られているようだが、どの程度の効果があるか不透明である。人材育成の確保について、どのような展望を持っているか伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>障害者の支援者の人材確保の課題は、注視している。市は指定管理として運営しているが、人材の確保、採用・研修については事業者をお願いして情報交換している。委員にもいるので率直なところをお聞きしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>障害・高齢問わずどこも大変で、国の施策の関係もあるが、事業者の委員はいかがが。</p>
<p>委員</p>	<p>事業者としての立場では、所沢という地域の立地の問題が大きいと感じる。隣が東京都である。級地区分、東京都の差があり、時給・報酬が違う。埋めることは難しい。人材を豊かに抱えているところはおそらくなく、ぎりぎりの状況で進めているのではないか。</p> <p>親亡き後については、親がいるうちにどれだけ準備できるか、親がいるうちの問題である。亡くなってから入ると、帰る場所がないなどの拠り所の面で不安感等があり難しい。家族等のアドバイスを求める相手がいないのは支援が難しい。特別支援学校を卒業した方はプランニングが結構出来ているが、いま40歳以上ぐらいの方は家庭で見たい方も多い。気持ちは分かるが住居、金銭な課題等は、</p>

<p>会長</p>	<p>親や家族がいる早めに取り組む必要がある。働きかけを事業所単位で行っても情報が広まらないと思うので一緒に考えていきたい。</p> <p>東京都の近郊は特にたいへんと思う、東京でも人が足りないので様々な優遇策を行っている。</p> <p>外国人材について、介護はよく聞くが言葉の壁が大きいと推測される。</p> <p>親の元気なうちの備えは大事な指摘であった。親亡き後について、親の会として何かあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>重度で肢体不自由で親が亡くなると何もできない。国が入所施設作らないといったときから動いている。12年かかって、皆成会が入所施設を作ってくれた。すぐこの子を見てとはいかないので、時間がかかる。すぐには安心できない。</p>
<p>会長</p>	<p>いつでも会いに行ける施設の在り方は大事。</p>
<p>委員</p>	<p>経験談になるが、親1人子1人、最初のころはショートステイを利用したりして生活していたが、自分が2年前に脳梗塞で入院してしまった時、姪が知らない間に施設入所の手続をしていた。1年半後、戻ってきたら市内のある施設から入所できるので、7月までに手続してという通知が来た。入院で体の機能が色々低下したが自分でやるしかなかった。面倒を見切れないというあきらめの気持ちで入所させたが、入所手続が大変だった。住民票、戸籍、マイナンバー。市職員や友人が助けてくれた。契約に行くのも日にち指定、やっと契約できたと思ったら後見人を付けてくれと言われ、簡単に見つからないし、いろんな書類を家庭裁判所に出さなければならない。家庭裁判所で後見人を1回付けると断れないがいいですか、と言われた。どういう方が分からない状態と言われて困った。一方で後見人をつけないと入所できないし、決めにくかった。亡くなった主人に最後まで面倒を見ると約束したのに面倒見られない悲しさ、苦しさ、悔しさ。夜何回も起きて外を見てしまう状態だったが、最近やっと整理ができてきた。親が元気なうちに子どもの将来を見据えて吟味する必要があるとつくづく感じた。官公庁は土日休みだし、死ぬような思いで手続をした。なかなか後見人はいない。親戚なり後見人になってくれる方にきちんと頼んでおかないと、子ども</p>

<p>会長</p>	<p>を一人でポンと放り投げることになる。</p> <p>非常に説得性の高い話。元気なうちに準備しておかないと事務手続その他を調子の悪い時にやるのはあまりにも大変。後見人について様々な不祥事が多い。備えておかないと誰がなるか分からない。</p>
<p>委員</p>	<p>息子が20代で元気なうちにグループホームの見学を開始している。親と一緒に住んでいるのでなんとか障害者雇用で仕事しているが、親がいなくなって一人で生きられるか心配。グループホームを見学させていただくと、障害支援区分で1から6までに分かれていて、施設に相談すると6がギリギリとれるくらいと説明があった。施設は区分の真ん中の方ほうがよく、問題がかからない方が良くと考えるところもあると聞いた。そういう選別があることを疑問に思った。また、支援員が常駐するのではなくサテライト型がでてきている。時々様子を見に来てくれるような施設である。空きがあったら教えて欲しいとお願いしているが、なかなか案内がない。知的に遅れがないタイプのグループホームはまだまだ少ないという実感がある。</p> <p>成年後見の方も就職して収入を得ているが、余暇活動が大事。あまりにキチキチと財産管理されるとその人たちと生きるのはどうかと感じる。法人後見の会社の話も聞きに行ったが、後見人によりますと言われた。人によっては干渉しないこともある。法人後見だと会社のカラーで選べるのかもしれない。</p>
<p>会長</p>	<p>障害者施設はあまり増えていないが、グループホームは相当数増えている。内訳をみると株式会社の運営が圧倒的に増えているようであるが、その反面、厄介な課題を生み出している。利用者がここなら安心して生活できる、といった情報収集しておかないと問題が尽きない。これまでと違い、株式会社が運営しているとどうなるか分からない部分があるため、各施設、市などにおいて情報交換の場を設けて安心材料を増やす事が必要になってくるのではないかと。大変申し訳ないが、しっかりと情報収集をして自分の身を守る時代になってきているのではないかと思う。</p> <p>ここで10分の休憩としたい。</p> <p>(休憩10分)</p>

<p>会長</p>	<p>議題 2</p> <p>第 6 次障害者支援計画の進捗管理における主要指標について事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>主要指標についての提案。</p> <p>令和 7 年度から 9 年度にかけて第 6 次計画の進捗管理を行っていくことになるが、優先的に取り扱う項目を 3 つ特出しするもの。</p> <p>これまでも指摘を受けていることだが、限られた時間で意義のある審議とするため、項目の数が多く、丁寧に審議する時間が取れないもの、関連項目の整理等を行い、3 つ抜粋したものになる。</p> <p>—資料 5、6、7 を使って主要指標 3 つの説明—</p> <p>資料 5 の障害者施設作品及び障害者週間記念事業来場者数については共生社会実現のための指標である。</p> <p>1 つ目として、所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例を推進することは、障害の種別に関わらず重要なことであるので指標として設定したい。障害者週間のイベントは、市民の方が障害への関心を持つ入口として非常に重要であること。</p> <p>2 つ目として、審議会には多様な方がいて、専門の方以外にも一般の方もいる。</p> <p>そうした一般の方の意見がイベントへの来場につながり、行動が変わり、共生社会の実現に向かうと考えているので主要指標として設定したい。</p> <p>今後の進捗管理では、年度ごとの取り組みや工夫について報告していきたい。</p> <p>資料 6 自立支援協議会の設置数</p> <p>設定理由は、1 つ目として障害福祉サービスの基盤となる協議会であり、相談支援をはじめとして障害福祉サービスの質の向上や関係機関の連携強化につながる取り組みであること。</p> <p>2 つ目として、この指標は、身体、療育、精神の多くの障害者に係る指標になること。</p> <p>進捗管理としては、部会の開催数だけでなく、内容についても重要だと考えているので取り組みや成果についても報告する。</p>

	<p>資料7 児童発達支援センターの設置</p> <p>設定理由は、国の指針として令和8年度末までの設置が示されている。こちらに合わせて所沢市でも設定したい。この指標は所沢市では、市立の松原学園が児童発達支援センターとして指定されており、目標は達成している。今後も維持できる見込み。児童発達センターが地域の中核的な役割を果たすことになっており中核的な役割として4点ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能</li> <li>② 地域の障害児支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能</li> <li>③ 地域のインクルージョンの中核機能</li> <li>④ 地域の発達支援に関する入口としての相談機能があげられる。</li> </ul> <p>こういった中核的な役割を果たすべく松原学園をはじめとして地域の施設として連携しながら支援体制づくりを行っていききたい。</p> <p>進捗管理としては年度ごとにこうした支援体制に向けた取り組み状況について報告していききたい。</p>
会長	<p>これまで非常に多くの成果指標があったが、あまりにも項目数が多すぎることで議論する時間をとれず、確認することが困難であったことを受けて、この3つを中心に議論することで市の様々な現状を見ていけるのではないかということでの提案だが、いかがか。</p> <p>また、この指標によって幅広い議論が可能となるか意見をいただきたい。</p>
委員	<p>資料6で自立支援協議会が活発に行われていることを評価することになると思うが、課題にある基幹相談支援センター、相談支援事業所の負担過多について、民間の方が担えるのか。少ない人数で行っている事業所がまとめ役を担っている。次々施設長が変わることを考えると過酷なのではないか。会議回数が多いことを評価していいものか。日々の仕事に追われている中更にこういう活動を増やす事は中心になる方を潰すことにならないか。</p> <p>中心になる方が次々と入れ替わる状況は、相談するに当たって足を救われる気持ちである。わざわざ課題に挙げたということは、状況をご存じということと思うが、もう少し合理的な方法を検討できないか。</p>

会長	<p>自立支援協議会については、主要指標としては取り下げたほうが良いというお考えか。</p>
委員	<p>そこまで考えていたわけではないが、自立支援協議会の負担についての発言である。市の方で課題を書かれたことの重さがあるので、心に留め置いていただきたい。</p>
会長	<p>問題をはらんでいるようであれば別の指標を立てるという考え方もできる。中身の議論の前に取り上げることについての議論を本日は行っている。</p> <p>他の地方自治体でも審議会に参加しているが、自立支援協議会を取り上げるかどうかの議論をあまり聞いたことはないので所沢市の特殊事情であれば、取り上げることの妥当性があるか、ということも考えうる。</p>
委員	<p>市の方で課題を書かれたことの重さがあるので、心に留め置いていただきたい。</p>
会長	<p>主要評価としてはあってもいいが、内容は精査して欲しいということ意見とする。</p>
委員	<p>資料5について内容は良いと思う。土曜日に開催したフェスティバルの来場者がたくさんいるということだが、保護者が多いイメージだった。関係者以外の来場者も増やす方法、駅へのチラシ等を検討して欲しい。</p>
会長	<p>市民の理解をどう進めるかは、他の自治体でも悩ましい問題である。柱としての周知啓発の提案は大きいことである。入口として障害への理解を深めていくために大事な指標と思われる。</p>
委員	<p>資料5について、公募の市民として意見を挙げたい。所沢駅を普段利用しているが、改札を出た後広場みたいなものがあり、また、改札内にも展示のスペースがある。市役所の1階で行うのもあるが、巡回展示として外に出ていくのも重要ではないか。決まった日時に会場に来る方はもともと関心を持っている方である。たまたま目にする方を増やす事が認知度の向上に繋がるのではないか。駅を</p>

<p>会長</p>	<p>はじめとして商業施設など、目的をもってここに来ない人へのアプローチを考えるとよい。</p> <p>主要指標を設定すること自体は議論が広まってよいと思うが、限られた回数で全ての指標を取り上げることは難しい。取り上げなかった指標についても意見を言える時間を設けるとよい。</p> <p>数を絞ることで議論を深めることになるが、内実については追加提案を取れるように事務局でも参考にしてほしい。</p> <p>議題2の二つ目として、進捗管理と目標値の管理方法について、資料3は時間の都合で私から説明する。</p> <p>——資料3使用——</p> <p>意見1、2では、進捗管理の報告の際に手話やグラフ、図をつけてほしいと意見があった。</p> <p>これに対して事務局からは、動画に出ていただける手話通訳者が不足していることから、現在のところ手話をつける予定はないが、希望があれば担当者が手話通訳者と説明に行くこと、グラフや図については、レイアウトと調整しながら資料を適切に作成していきたいと回答があった。</p> <p>意見3では、計画自体にも手話通訳の動画をつけてほしいと意見があった。これに対して、動画に出る手話通訳者が不足していることや財政上の理由から現在のところ、実施する予定はないとのことだが、計画の分からない部分について、希望があれば計画の担当者と手話通訳者が説明に行くとの回答があった。</p> <p>意見4では、資料1の事務局案に賛成の意見があった。理由としては、評価の細分化については、総合振興計画等他の施策との関連もあることから、(新)評価方法くらいで良いという意見であった。</p> <p>意見5では、資料2に賛成の意見があった。加えて、資料1と同様に、市民に分かりやすい計画書を作成するため、未達成理由を付記することは良いと思うが、この項目を追加することで、目標値が安易に後退することが無いようにという意見であった。</p> <p>その他確認すべき項目についてあれば、事務局までお願いする。次に来年度以降に行う進捗管理の評価方法について、事務局より説明があればお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>——資料1、2を使用——</p> <p>進捗管理ができるよう、意見を出しやすくなるように提案したも</p>

<p>会長</p>	<p>のとなる。変更点として、指標の評価段階を4段階から5段階に増やすことや未達の部分に関しては、理由を記載することである。</p> <p>なにか全体を通じて、意見があれば事務局まで意見を (3)その他事項はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは以上とする。 ここで出た意見や提案を事務局は参考にして次の計画策定に役立ててほしい。</p>
<p>副会長</p>	<p>副会長の挨拶</p> <p>閉会</p>